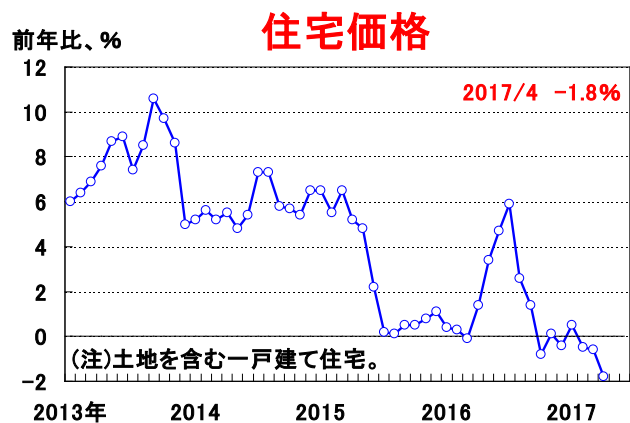
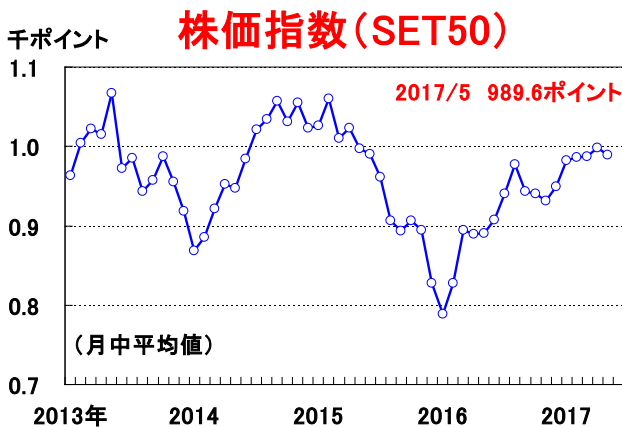
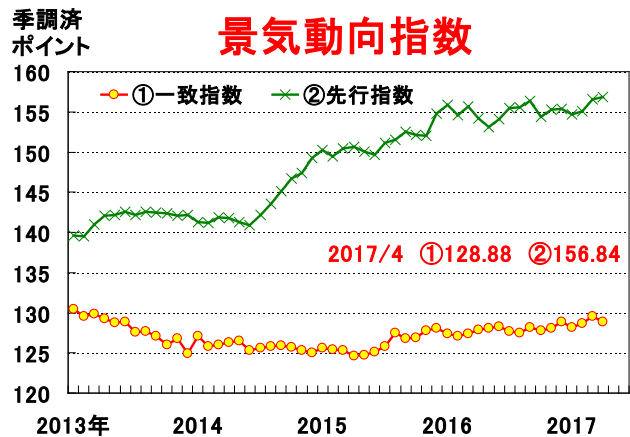
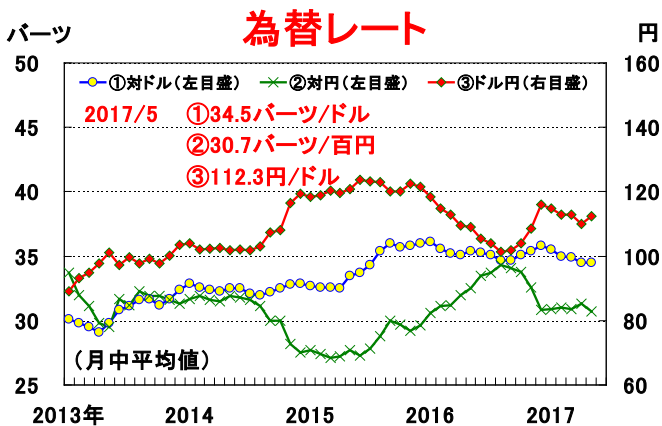
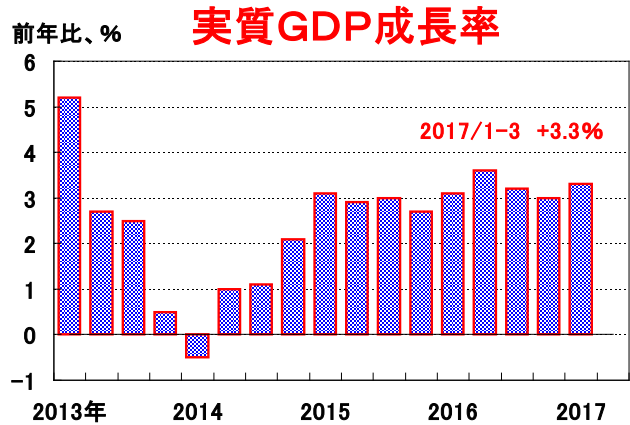
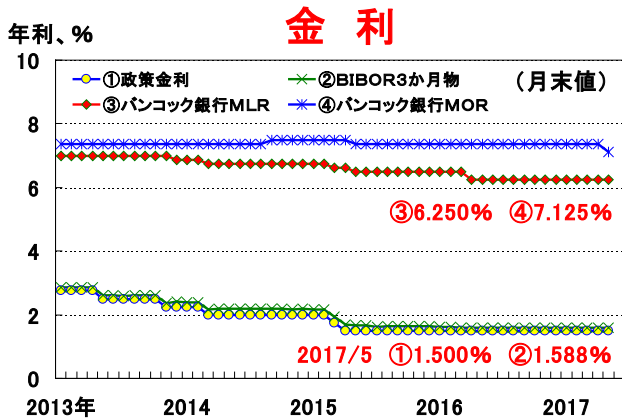


# グラフで見るタイ経済 2017年6月号(No. 96)

タイ景気は緩やかな回復基調にある。2017年1～3月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+3.3%(前期は同+3.0%)と、成長率が3四半期ぶりに高まった。1～3月期には、民間投資が前年比-1.1%と3四半期連続で減少したものの、個人消費が同+3.2%と3四半期ぶりの高い伸びとなったことが成長率を押し上げた。また、輸出も前年比+2.7%と中国向け的大幅増もあり、1年ぶりの高い伸びとなった。一方、直近の月次指標をみても、5月の企業景況指数が52.3(前月は49.6)と中立水準の50を上回り、企業マインドが改善している。



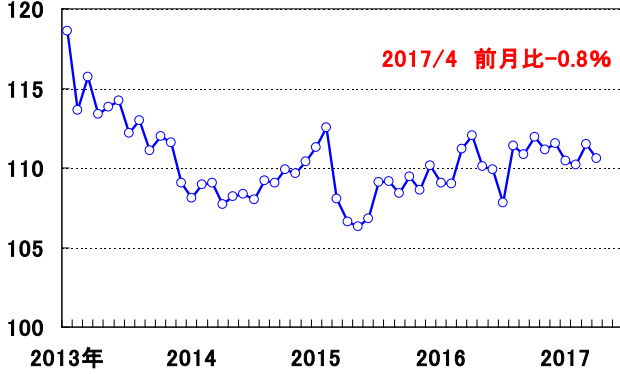
**【今月のトピック:外国人旅行者が2か月連続の増加】** 4月にタイを訪れた外国人旅行者数は前年同月比7%増と、2か月連続で増加した。外国人旅行者は、中国人向け違法格安ツアーの摘発が強化されたことや、政情不安の影響などから伸び悩んでいた。外国人旅行者が増加に転じた要因としては、中国人旅行者の落ち込み幅の縮小と、欧州やロシアからの旅行者の堅調な増加があげられる。中国人旅行者に関しては、中韓の外交関係の悪化により韓国からタイへ旅行先が部分的にシフトされることが想定されることに加え、医療目的のビザ免除策の導入などにより、今後、回復が予想されている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

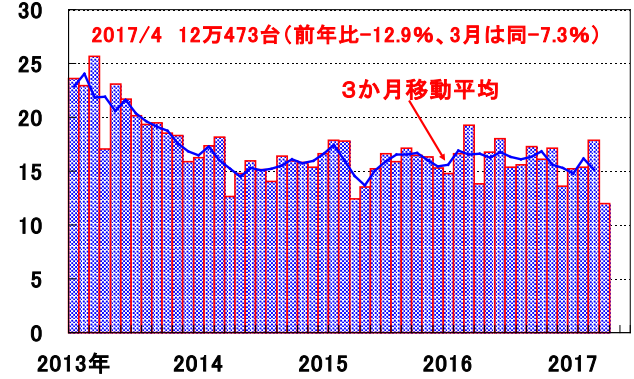
季調済  
2000年=100

### 工業生産指数

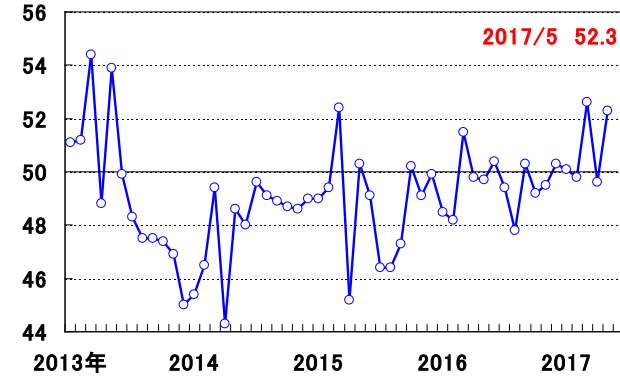


万台

### 自動車生産台数

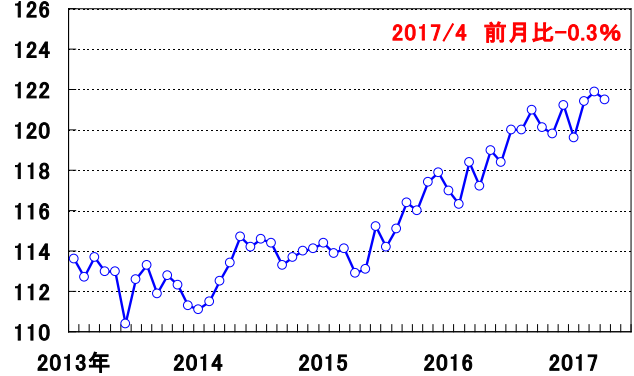


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



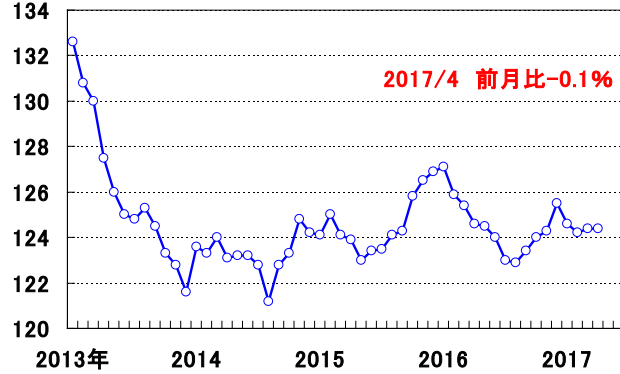
季調済  
2000年=100

### 個人消費指数



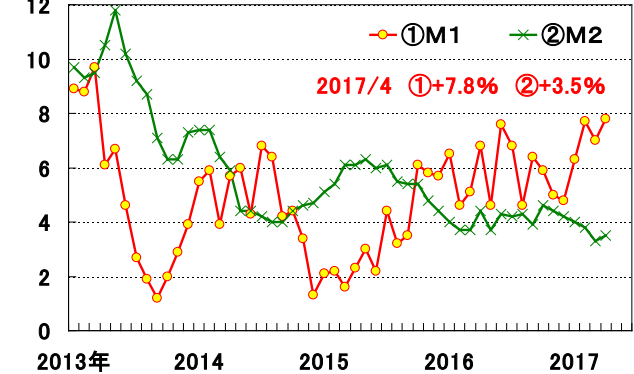
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



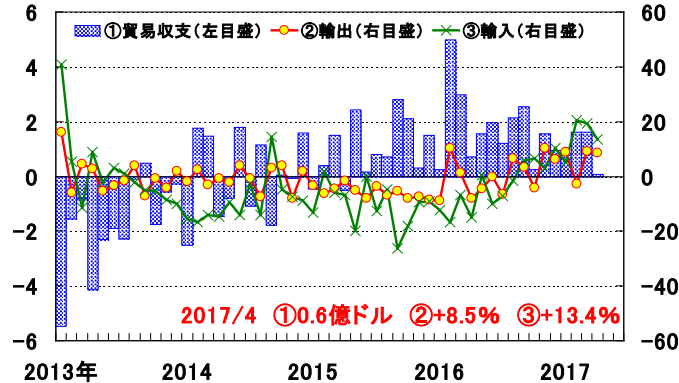
前年比、%

### マネーサプライ



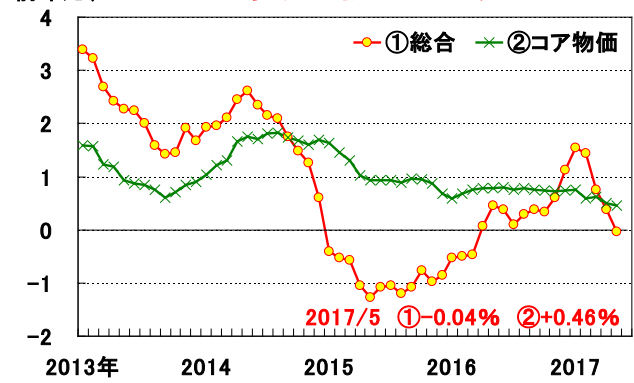
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。